

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月5日

上場会社名 ころネット株式会社 上場取引所 大
 コード番号 6060 URL http://cocolonet.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 高紀
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 安斎 紀之 TEL 024(573)6556
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満は切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	8,268	6.6	891	5.5	963	7.5	422	△23.4
24年3月期第3四半期	7,757	—	845	—	896	—	551	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 420百万円 (△23.5%) 24年3月期第3四半期 549百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	120.91	—
24年3月期第3四半期	185.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	15,967	6,359	39.8	1,794.92
24年3月期	16,583	5,540	33.4	1,858.83

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 6,359百万円 24年3月期 5,540百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	12.50	12.50
25年3月期	—	15.00	—		
25年3月期（予想）				15.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,667	5.8	947	6.2	995	3.4	597	7.1	170.32

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

詳細は、添付資料のP. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	3,543,100株	24年3月期	2,980,600株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	55株	24年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	3,496,017株	24年3月期3Q	2,980,600株

- (注) 1. 当社は平成24年4月25日の株式上場による新株発行をしており、公募株数562,500株の増加を反映しております。
2. 当社は平成23年12月7日付で普通株式1株につき10株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9
4. 施行数の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要が引き続き下支えするなかで、長引く円高や原油価格の高騰により弱含みで推移しました。また、今後予定される消費税の引き上げ等により景気の先行きは依然として不透明な状況であります。

当社グループの事業基盤となる福島県の経済は、東日本大震災の復興関連投資が増加しているほか、個人消費も堅調に推移したものの、海外経済の減速やエコカー補助金の終了等の影響から回復のテンポは緩やかになりつつあります。

このような環境下、当社グループでは、ブランド力の向上のためにテレビコマーシャルの継続的な放映やI R活動を積極的に行いました。また、全社を挙げての販促キャンペーンを実施し、受注の増加に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は8,268百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益は891百万円（同5.5%増）、経常利益は963百万円（同7.5%増）となりました。また、特別利益として受取補償金327百万円を計上、特別損失として主に減損損失437百万円を計上した結果、四半期純利益は422百万円（同23.4%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであり、売上高については、セグメント間の内部売上高または振替高を除き表示しております。

なお、当社は、事業子会社の経営統括を主たる目的とする純粋持株会社であり、各連結子会社からの不動産賃貸料収入、経営管理料収入及び配当金を主たる収益としております。一方で、各セグメント（各連結子会社）の営業費用には、当社に対する不動産賃借料及び経営管理料が計上されております。

① 葬祭事業

当社が展開している営業エリアにおいて、同業他社の葬祭会館の建設等によりシェア競争が激化しております。

このような状況の下、10月には福島県喜多方市に「喜多方メモリアルホール」を出店し商圈を広げるとともに、葬祭会館ごとにイベント等の開催による販促活動を継続的に実施しましたが、死亡者数が対前年同期比で減少していることにより葬儀件数は減少しました。その結果、売上高は3,561百万円（前年同期比4.4%減）、営業利益は157百万円（同37.1%減）となりました。

② 石材卸売事業

当社が展開している営業エリアの中で主に岩手・宮城の両県において、震災後の復興に伴う墓石の新規建立が継続して活発でありました。

このような状況の下、高品質石種や高機能商品の販売強化に注力し、耐震構造の商品提案等に努めました。その結果、売上高は1,368百万円（前年同期比19.1%増）、営業利益は157百万円（同57.2%増）となりました。

③ 石材小売事業

当社が展開する営業エリアにおいて、新規建立工事受注は横ばいで推移しました。

このような状況の下、耐震構造墓石等の高機能商品を積極的に提案し、単価アップに努めましたが、震災後の墓石修復工事受注が対前年同期比で減少しました。その結果、売上高は1,114百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益は116百万円（同21.3%減）となりました。

④ 婚礼事業

当社が展開する営業エリアにおいて、需要は震災直後の落ち込みから回復し、増勢基調で推移しております。

このような状況の下、イベントの開催や広告展開を活発化して来館集客に注力し、お客様のニーズに応じたプランを各種用意し成約率の向上を図りました。更に料理、衣裳、写真、引出物等はおお客様の要望にお応えできるよう多種多様な商品を取り揃え積極的なご提案を行いました。その結果、売上高は1,830百万円（前年同期比35.2%増）、営業利益は230百万円（同333.2%増）となりました。

なお、12月には総合結婚式場「SP VILLAS サンパレス会津」を閉鎖し、ゲストハウス型婚礼会場「ブリエール・ド・マリアージュ」に資源を集中、「アニエス会津」としてリニューアルすることといたしました。加えて「アニエス・ガーデン郡山」を「アニエス郡山」としてリニューアルすることにより、より満足いただけるサービスを提供し、収益力の向上を図ることとしております。

⑤ 生花事業

安定して供給できる商材の確保、取引先へ営業案内の送付を行い販売数の増加に取り組みましたが、仕入コストの増加により、売上高は339百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益は74百万円（同3.4%減）となりました。

⑥ 互助会事業

互助会代理店による会員募集活動の強化を行い会員数の増加を図りましたが、会員募集キャンペーンや葬儀セミナー等の活動を数多く実施したことにより販売促進費用が増加し、売上高は7百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益は19百万円（同50.7%減）となりました。

⑦ その他

その他の装販部門につきましては、新規取引先開拓等により販売数量の確保に努めましたが、売上高は43百万円（前年同期比21.8%減）、営業損失は0百万円（前年同四半期は営業利益12百万円）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

（流動資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ191百万円減少し3,450百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少、商品及び製品の減少によるものです。

（固定資産）

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ424百万円減少し12,517百万円となりました。これは主に、建物及び構築物等において葬祭会館（福島県喜多方市）の完成に伴い増加した一方、減価償却費の計上及び総合結婚式場（福島県会津若松市）の閉鎖に伴う減損損失の計上等により減少したものです。

（流動負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ657百万円減少し2,078百万円となりました。これは主に未払法人税等の減少、短期借入金の返済、賞与引当金の減少によるものです。

（固定負債）

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ777百万円減少し7,529百万円となりました。これは主に長期借入金の返済によるものです。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ819百万円増加し6,359百万円となりました。これは主に、増資による資本金及び資本剰余金の増加、四半期純利益422百万円に伴う利益剰余金の増加によるものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月14日の「平成24年3月期 決算短信」で公表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,292,459	2,337,235
受取手形及び売掛金	744,496	647,833
商品及び製品	326,605	266,854
仕掛品	65,211	33,966
原材料及び貯蔵品	17,152	16,536
その他	296,700	232,435
貸倒引当金	△101,427	△84,774
流動資産合計	3,641,198	3,450,086
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,323,383	4,891,309
土地	3,785,328	3,787,417
その他（純額）	101,161	128,719
有形固定資産合計	9,209,873	8,807,446
無形固定資産		
のれん	154,559	119,160
その他	55,700	32,433
無形固定資産合計	210,259	151,594
投資その他の資産		
投資有価証券	2,162,877	2,213,511
その他	1,455,341	1,435,331
貸倒引当金	△96,440	△90,463
投資その他の資産合計	3,521,779	3,558,379
固定資産合計	12,941,912	12,517,420
資産合計	16,583,110	15,967,506
負債の部		
流動負債		
買掛金	363,543	308,899
短期借入金	680,000	480,000
1年内返済予定の長期借入金	581,980	498,943
未払法人税等	310,604	69,877
賞与引当金	183,382	88,019
店舗閉鎖損失引当金	—	68,380
資産除去債務	—	1,992
その他	616,138	562,522
流動負債合計	2,735,649	2,078,634
固定負債		
長期借入金	2,918,741	2,125,070
退職給付引当金	2,919	—
前受金復活損失引当金	17,522	17,388
資産除去債務	112,487	112,281
負ののれん	167,306	158,011
前払式特定取引前受金	4,834,545	4,875,472
その他	253,503	241,152
固定負債合計	8,307,025	7,529,375
負債合計	11,042,674	9,608,009

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	256,140	500,658
資本剰余金	1,375,994	1,620,512
利益剰余金	3,894,757	4,227,041
自己株式	—	△46
株主資本合計	5,526,891	6,348,167
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,313	16,678
為替換算調整勘定	△3,768	△5,348
その他の包括利益累計額合計	13,544	11,329
純資産合計	5,540,435	6,359,496
負債純資産合計	16,583,110	15,967,506

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	7,757,090	8,268,199
売上原価	5,066,126	5,402,047
売上総利益	2,690,964	2,866,151
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	6,518	2,726
給料及び賞与	801,942	818,272
賞与引当金繰入額	41,118	50,213
退職給付費用	27,834	26,466
その他	967,851	1,076,651
販売費及び一般管理費合計	1,845,265	1,974,330
営業利益	845,698	891,820
営業外収益		
受取利息	24,786	24,763
受取配当金	2,110	3,040
負ののれん償却額	9,294	9,294
持分法による投資利益	—	1,605
その他	98,887	99,453
営業外収益合計	135,079	138,158
営業外費用		
支払利息	47,214	36,899
持分法による投資損失	911	—
前受金復活損失引当金繰入額	2,391	5,510
その他	33,839	23,928
営業外費用合計	84,356	66,337
経常利益	896,422	963,641
特別利益		
固定資産売却益	4,510	1,170
災害損失引当金戻入額	2,550	—
受取補償金	—	327,696
受取保険金	17,334	—
助成金収入	28,104	—
その他	9,922	—
特別利益合計	62,422	328,867
特別損失		
固定資産除却損	7,102	1,917
減損損失	—	437,841
災害による損失	39,125	—
のれん減損損失	—	26,812
投資有価証券売却損	—	1
投資有価証券評価損	—	80
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	68,380
特別損失合計	46,228	535,032
税金等調整前四半期純利益	912,616	757,475
法人税、住民税及び事業税	309,271	291,828
法人税等調整額	51,430	42,958
法人税等合計	360,702	334,787
少数株主損益調整前四半期純利益	551,913	422,687
四半期純利益	551,913	422,687

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	551,913	422,687
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,166	△635
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,169	△1,579
その他の包括利益合計	△2,003	△2,214
四半期包括利益	549,910	420,472
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	549,910	420,472
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、株式会社大阪証券取引所 J A S D A Q（スタンダード）への株式上場にあたり、公募による株式の発行を行い、平成24年4月24日に払込が完了いたしました。この結果、資本金が244,518千円、資本剰余金（資本準備金）が244,518千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が500,658千円、資本剰余金が1,620,512千円となっております。

（5）セグメント情報等

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	葬祭事業	石材卸売 事業	石材小売 事業	婚礼事業	生花事業	互助会 事業	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	3,723,932	1,148,374	1,138,238	1,353,453	327,123	7,453	7,698,576	56,199	7,754,776	2,314	7,757,090
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,144	177,111	6	156,404	290,525	295,960	921,151	59,643	980,794	△980,794	-
計	3,725,077	1,325,485	1,138,244	1,509,858	617,649	303,413	8,619,727	115,843	8,735,571	△978,480	7,757,090
セグメント利益	251,036	99,908	148,539	53,296	77,048	39,472	669,300	12,228	681,529	164,169	845,698

（注） 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである装販部門であります。

2 調整額の内容は以下のとおりであります。

（1）外部顧客に対する売上高の調整額は、持株会社である当社の不動産収入であります。

（2）セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社利益307,353千円、各報告セグメントからの受取配当金の消去額△142,000千円、セグメント間取引消去9,964千円、のれん償却額△7,677千円、その他の調整額が△3,470千円であります。なお、全社利益は、当社の主たる収益である各連結子会社からの経営管理料収入及び不動産賃貸料収入等によって生じた利益であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	葬祭事業	石材卸売 事業	石材小売 事業	婚礼事業	生花事業	互助会 事業	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	3,561,939	1,368,168	1,114,553	1,830,495	339,478	7,294	8,221,929	43,954	8,265,884	2,314	8,268,199
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,338	229,275	17,223	169,990	301,544	284,010	1,003,381	52,138	1,055,520	△1,055,520	-
計	3,563,278	1,597,443	1,131,776	2,000,486	641,022	291,304	9,225,311	96,093	9,321,405	△1,053,206	8,268,199
セグメント利 益又は損失 (△)	157,975	157,096	116,923	230,854	74,432	19,442	756,725	△965	755,760	136,059	891,820

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである装販部門であります。
- 2 調整額の内容は以下のとおりであります。
- (1) 外部顧客への売上高の調整額は、持株会社である当社の不動産収入であります。
 - (2) セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社利益468,591千円、各報告セグメントからの受取配当金の消去額△330,000千円、セグメント間取引消去8,591千円、のれん償却額△7,384千円、その他の調整額が△3,738千円であります。なお、全社利益は、当社の主たる収益である各連結子会社からの経営管理料収入及び不動産賃貸料収入等によって生じた利益であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失及びのれんの金額の重要な変動)

婚礼事業の総合結婚式場「SP VILLAS サンパレス会津」の閉鎖に伴い、「互助会事業」セグメントにおいて減損損失を434,853千円、「婚礼事業」セグメントにおいて減損損失を2,987千円計上しております。また、報告セグメントに配分されていないのれん減損損失を26,812千円計上しております。

4. 施行件数の状況

当社グループのセグメントのうち主な事業である葬祭事業及び婚礼事業に係る葬儀、婚礼施行件数の当第3四半期連結累計期間における状況は次のとおりであります。

（1）葬祭事業

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
	葬儀施行件数 (件)
福島事業部	857
郡山事業部	74
会津事業部	360
催事事業部	1,488
合計	2,779

(注) 催事事業部における葬儀施行件数は、株式会社J Aライフクリエイティブ福島との業務受託契約による施行件数であります。

（2）婚礼事業

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
	婚礼施行件数 (件)
福島事業部	234
会津事業部	125
郡山事業部	133
合計	492